

文部科学省選定 広島文化学園 研究ブランディング事業

認知症カフェ第 4回「あがりんさい」

テーマ 癒し、心の元気、祭り

1. 日 時 平成 30 年 11 月 2 日 金曜日

2. 場 所 広島文化学園大学看護学部 2階実習室

3. プログラム

癒し、心の元気度調査、ハンドマッサージ、祭り、お抹茶

(1)広島文化学園大学対人援助センター HBG看護カフェ 責任者 土肥敏博教授挨拶

(2)健康チェック

(3)ハワイコーल्ズによる演奏

(4)心の元気度調べ

(5)ハンドマッサージ

(6)お茶の時間、交流

4. 参加者

地域の皆様 33 名

看護師ボランティア 大畑様

認知症疾患医療センター ふたば病院 濱田様 呉市介護保険課 埴生様

認知症サポーター2年生 32名

教員 教授 土肥俊博、教授 加藤重子、准教授 今坂鈴江、准教授 進藤美樹、

准教授 林君江、講師 風間栄子、助手 空本恵美

5. 認知症カフェあがりんさいの様子

ハワイコーल्ズの演奏にうっとりしたり、青春時代を思い出したり。曲に合わせて歌います！



ハンドマッサージのメンバー

空本教員の指導で実施しました。



皆さん常連さんで、学生のマッサージを楽しみにしておられます。



お話ししながら、マッサージを受けるのが気持ちよらしく、つつい長くなります。

2年生のはじめての手技に地域の皆様からの見守りがありました。

ハンドマッサージは、人気のコーナーです。全員が受けて帰られます。



ハンドマッサージチームの振り返りミーティング
ボランティアサークル学生によるオレンジリボン啓発



11月は、子ども虐待防止月間です。11月25日は、子ども虐待防止の公開講座を阿賀まちづくりセンターで実施します！「みんなで守ろう親と子」オレンジリボンを付けてください！
学生も全員がリボンを装着し、参加者の方、全員にオレンジリボンを配布し啓発しました。

和やかな情報交換場面 ボランティア大畑看護師、呉市 保健師、看護カフェ責任者 土肥教授



2年生は、老年看護援助論Ⅰの科目で、地域の皆様に聞き取りをしています。





学内で学んだ、高齢者の特性に応じたコミュニケーション技術、聴取技術を活用します。
 12 月のカフェの際、この時の学生さんのことを伊藤さん、木本さんが一生懸命話を聞いてくれたと感想を教えてくださいました。学生が高齢者を知るだけでなく、高齢者が学生を知ることができます。
 参加者によるフィードバック



今回は、2 年生のはじめてのカフェということでしたが、よく話を聞いてくれてとてもよかったと思います。プラチナクラブのモットーは、笑顔です。今日の皆さんは、笑顔がとてもよかったと思います。どうぞ、先生方は、このような機会をつくってください。今後ともよろしくお願いいたします。浜崎様



阿賀地区の保健師をしていました。皆様には、顔見知りの方がいらっしゃいます。もとより、お元気ですが、今日も楽しく参加されている様子が拝見できてよかったです。

現在は、呉市役所 福祉保健部 介護保険課予防総合事業グループ本庁舎1階にあります。認知症サポーター研修開催などお世話になっております。今回、はじめて認知症カフェあがりんさいに参加させていただきました。とても楽しく、学生さんも初めてのカフェということでしたが、とてもよかったです。このような経験は、とても貴重です。保健師になって地域の貢献したいという学生さんが一人でも増えますように望みます。今後とも、続けてください。埴生様



前から認知症カフェあがりんさいのことは、聞いていたのですが、このように積極的に行われているとは知りませんでした。今後も、交流していきたいと思います。本日は、ありがとうございました。

医療法人社団ふたば病院 認知症疾患医療センター
精神保健福祉士 介護支援専門員 濱田 識敬 様

土肥教授のまとめ



しめは、いつも小喃で笑いの場にして、カフェの効果を説明し次回のご案内をします。
参加者の皆さん、お話に聞き入っています。